

## SNS東京ノートの活用

## 高等学校 第2学年 ホームルーム活動「災害時のSNSの活用」

ケータイ・スマホを主体的に活用する方法を考える活動

## ■本時の目標

- 災害発生時に備え、自分にできることは何かを考える。
- 情報を比較・検討し、適切に活用するにはどうしたらよいか事例を基に考える。

## 本時の流れ

	学習内容・学習活動	活動の様子
導入	○災害発生時を想定し、離れ離れになった家族との連絡の取り方について、電話以外の方法を家族と話し合っているかどうかを問いかける。	 <p>災害時の様子を検索する</p>
展開1	○SNS東京ノート⑤P.10「災害時SNSの活用」についてのワーク①を実施する、 ○思いつく連絡手段についてSNSを使う場合と、使わない場合に分けて考えるようにする。	
展開2	○災害時の伝言ダイヤル、災害用掲示板、災害用統一SSID、公衆無線LAN等の利用方法などについて紹介する。 ○災害時におけるSNS利用のデメリットとしての悪質なデマや誤った情報の発信・収集と拡散について紹介し、信頼性の高い情報の入手方法について調べる。 ○災害時に情報を正しく伝える方法や伝える情報の整理方法について考え、災害時における共助として、高校生でも行えることについて考える。	 <p>高校生でもできることについて考える</p>
まとめ	○学習を振り返り、適切な行動の在り方について、考えを発表する。	

## ■生徒の変容等

- ・災害時を想定して、家庭内で複数の連絡方法について話し合っている生徒は少数であった。
- ・災害掲示板やSNSから固定電話への送信が可能な機能があることを初めて知る生徒が多かった。
- ・SNSを通じた情報からデマや誤った情報を見極めるのは難しいと感じている生徒が多かった。
- ・生徒の学びの姿から、災害時を想定し、SNSの効果的な活用を考える授業は大切であると感じた。